



S.Suzuki

## THE KIKUKA SHO

## 第86回 菊花賞 (GI)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着  
本 賞 200,000,000円 80,000,000円 50,000,000円 30,000,000円 20,000,000円  
付加賞 27,559,000円 7,874,000円 3,937,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

牡・牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 馬齢重量

2025.10.26 京都 小雨・稍重 芝3000m (国産) (指定)

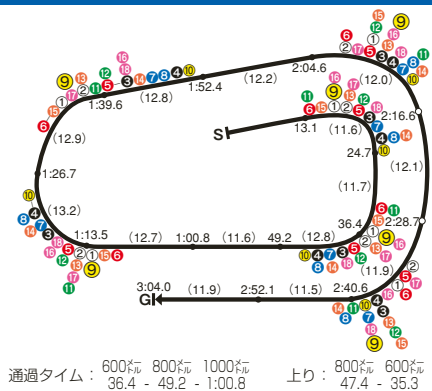
順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	エネルジ	牡	3	57	C.ルメール	3:04.0	15-14-8-4	35.0	456(-12)	3.81	高柳瑞樹(美浦)	118
2	⑮	エリキング	牡	3	57	川田将雅	2	17-17-12-8	35.2	508(-2)	4.32	中内田充正(栗東)	115
3	④	エキサイトバイオ	牡	3	57	荻野 極	¾	4-5-2-1	35.7	480(+8)	82.6	今野貞一(栗東)	114
4	⑫	ゲルチュータル	牡	3	57	坂井瑠星	ハナ	9-9-12-8	35.2	524(+8)	9.25	杉山晴紀(栗東)	114
5	⑩	レッドバンデ	牡	3	57	佐々木大輔	クビ	7-6-6-4	35.5	482(-4)	17.4	大竹正博(美浦)	113
6	⑥	ミラージュナイト	牡	3	57	藤岡佑介	クビ	18-18-17-14	35.1	492(+6)	15.2	辻野泰之(栗東)	113
7	①	コーチェラバレー	牡	3	57	西村淳也	¾	15-16-12-14	35.3	438(-4)	107.0	安田翔伍(栗東)	112
8	⑤	ジョバンニ	牡	3	57	松山弘平	クビ	9-9-12-16	35.2	478(+2)	11.9	杉山晴紀(栗東)	112
9	⑧	レクスノヴァス	牡	3	57	横山和生	クビ	2-3-3-2	36.0	484(-6)	20.4	上村洋行(栗東)	111
10	⑬	アロンディ	牡	3	57	団野大成	2	11-12-8-8	35.9	452(±0)	214.4	武 英智(栗東)	109
11	②	アマキヒ	牡	3	57	戸崎圭太	2	11-12-17-18	35.7	492(±0)	45.9	国枝 栄(美浦)	107
12	③	ライトトラック	牡	3	57	和田竜二	¾	6-6-8-8	36.3	474(-4)	41.9	友道康夫(栗東)	106
13	⑪	マイユニバース	牡	3	57	武 豊	クビ	11-11-3-3	36.7	464(-2)	9.1	武幸四郎(栗東)	106
14	⑦	ショウヘイ	牡	3	57	岩田望来	クビ	4-4-3-4	36.7	472(+8)	7.9	友道康夫(栗東)	106
15	⑭	レイヤードレッド	牡	3	57	嶋田純次	4	11-14-16-16	36.9	484(+8)	265.1	手塚貴久(美浦)	102
16	④	ヤマニンブークリエ	牡	3	57	横山典弘	½	2-2-6-8	37.3	516(±0)	14.1	松永幹夫(栗東)	101
17	⑬	ラーシャローム	牡	3	57	岩田康誠	大差	7-6-8-13	39.2	470(-8)	179.1	奥村 武(美浦)	90
18	⑩	ジーティーアダマン	牡	3	57	北村友一	大差	1-1-1-4	42.0	492(±0)	85.2	上村洋行(栗東)	75

単勝⑨380円(1¼) 複勝⑨180円(1¼) ⑮190円(2¼) ④1,180円(13¼) 枠連⑤-⑦1,010円(2¼)

馬連⑨-⑮1,110円(1¼) ワイド⑨-⑮540円(1¼) ⑨-⑮5,480円(54¼) ④-⑮8,370円(66¼)

馬単⑨-⑮2,100円(1¼) 3連複⑨-④-⑮45,690円(137¼) 3連単⑨-⑮-④140,270円(467¼)

5重勝⑥④⑭⑮⑨94,970円(7,349票) 対象競走：東京10R/京都10R/新潟11R/東京11R/京都11R



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m  
36.4 - 49.2 - 1:00.8 47.4 - 35.3

### アラカルト

- ・C.ルメール騎手はドウレツアで制した23年以降、菊花賞3年連続制覇、通算5勝目。本競走3連覇は史上初。JRA重賞は本年8勝目、通算167勝目
- ・高柳瑞樹調教師は菊花賞初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算11勝目
- ・ドウメンテ産駒はJRA重賞通算30勝目
- ・非当選馬 2頭(エコロディノス、キングスコール)

# エネルギー Energico

牡 黒鹿毛 2022.4.23生  
北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・(有)シルクレーシング 美浦・高柳瑞樹厩舎  
馬名意味・力強く(伊)。父名、母名より連想

エノラGER系 F19

ドゥラメンテ 鹿毛 2012	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	アドマイヤグルーヴ 鹿毛 2000	サンデーサイレンスUSA エアグルーヴ
エノラGER Enora 栗毛 2007	Noverre 鹿毛 1998	Rahy Danseur Fabuleux
	Enrica 栗毛 1994	Niniski Eicidora

5代までのインブリード：Halo S4×M5 Northern Dancer M4×M5

## INTERVIEW

佐々木淳史 厩舎長(ノーザンファーム空港)

### ポテンシャルの高さは計り知れません

牧場にいた頃は馬体が薄くて非力だった馬が青葉賞を勝ち、新潟記念でも次に繋がるレースを見せてくれました。菊花賞は高柳瑞樹調教師や厩舎の皆さんに長距離仕様の仕上げをしていただいたこと、ルメール騎手の自信溢れる騎乗と判断の良さが勝利に繋がったと思います。レースの度に想像を超える走りを見せてくれるように、ポテンシャルの高さは計り知れません。

Y.Machida



## G1初挑戦で大輪の花を咲かせる

クロワデユノールは凱旋門賞へ遠征し、ミュージアムマイル、マスカレードボールは秋の天皇賞へ。アスクビクターモアが優勝した2022年以來、皐月賞とダービーの1、2着馬が不在のメンバー構成によって争われた菊花賞は、青葉賞の覇者エネルジコとトライアルの神戸新聞杯で重賞2勝目を挙げたエリキングが拮抗した支持を集めた。春のクラシックは不出走に終わった前者に対し、後者皐月賞11着、ダービー5着は三冠の舞台に皆勤。そんな観点からも注目された対決の軍配はエネルジコにあがった。

朝から断続的に降る雨のもとで行われたレースの先導役を務めたのはジイ

テイ・アダマン。3番人気の支持を集めたダービーの3着馬シヨウヘイは、少し折り合いに苦労しながら4番手を進む。双壁と目された2頭はともにゆつくりとしたスタートを切り、後方待機策を選択。大歓声に迎えらる1周目のスタンド前、エネルジコのC・ルメール騎手は馬群の後方に腰を落着け、エリキングはこれをマークするよう、にその背後につけた。

中盤にペースを落とした逃げ馬に対し、好位を進んだ各馬は2周目の坂の上りからブレッシャーを強め、ルメール騎手も徐々に進出を開始。馬群が一同となった坂の下りでは前を射程に収める。4コーナーから本格的に仕掛けられると、エネルジコも力強い末脚を発揮。好位から先に抜け出したエリキングは、好位から先に抜け出したエリキングの反撃も寄せ付けずに悠々とゴールを駆け抜けた。

新馬戦から青葉賞まで無傷の3連勝を飾り、一躍、脚光を浴びたものの、体調が整わず、ダービーは回避を余儀なくされた本馬。それでも新潟記念でシランケドの2着に食い下がって秘められた素質の一端を示し、初めて挑んだG1で大輪の花を咲かせた。ルメール騎手は歴代単独首位となる「4勝目」を挙げた前週の秋華賞に続き、史上初の「菊花賞3連覇」を達成。開設100周年を迎えた京都の秋を、名手が2週連続で打ち立てた快挙が彩った。

## 父ドゥラメンテ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首9戦5勝(日本ダービー<sup>G1</sup>、皐月賞<sup>G1</sup>、中山記念<sup>G2</sup>、ドバイシーマクラシック・首<sup>G1</sup>2着、宝塚記念<sup>G1</sup>2着)、最優秀3歳牡馬、17年から供用、21年死亡。23年日本リーディングサイヤー、22年日本2歳リーディングサイヤー

〔代表産駒〕リパティア일랜드(桜花賞<sup>G1</sup>、オークス<sup>G1</sup>、秋華賞<sup>G1</sup>)、タイトルホルダー(菊花賞<sup>G1</sup>、天皇賞(春)<sup>G1</sup>、宝塚記念<sup>G1</sup>)、スターズオンアース(桜花賞<sup>G1</sup>、オークス<sup>G1</sup>)、エネルジコ(本馬)、ドゥレッツァ(菊花賞<sup>G1</sup>)、ルガル(スプリンターズS<sup>G1</sup>)、シャンパンカラー(NHKマイルC<sup>G1</sup>)、ドゥラエレーデ(ホープフルS<sup>G1</sup>)、ヴァレーデラルナ(JBCレディスクラシック<sup>Jb1</sup>)、アイコンテラー(JBCレディスクラシック<sup>Jb1</sup>)、サウンドビバーチェ(阪神牝馬S<sup>G2</sup>)、シュガークン(青葉賞<sup>G2</sup>)、シングザットソング(フィリーズレビュー<sup>G2</sup>)、アロヒアリイ(ギョームドルナノ賞・仏<sup>G2</sup>)、他に重賞勝ち馬多数

## 母エノラGER

独、仏4戦2勝(独オークス<sup>G1</sup>)、16年輸入

キジノ Kizingo(12 牝父Oasis Dream)英、独16戦1勝、アール Erle(独オークス<sup>G1</sup>、独オークストライアル<sup>G3</sup>)の母

エスカンダル Eskandar(13 牝父Teofilo)仏、独、ハンガリー、スロバキア19戦3勝

エローージュ Eloge(14 牝父Galileo)独2戦0勝

エラスムス Erasmus(15 牝父Reliable Man)独3戦2勝(ヴィンターファヴォリテン賞<sup>G3</sup>)

キタサンブラウン(16 牝父Lord of England)持込 中央11戦0勝、地方24戦0勝

フォーテ(17 牝父ロードカナロア)中央15戦4勝(播州S、はこべら賞、名鉄杯<sup>Op</sup>2着)、地方9戦1勝

(18 牝父ハーツクライ)

アドゥール(19 牝父ジャスタウエイ)中央6戦0勝、地方3戦1勝

ロンシャンクイーン(20 牝父ミッキーアイル)中央24戦1勝 ⑩

ヘルミーネ(21 牝父キンジャサノキセキAUS)中央6戦0勝

**エネルジコ** 本馬(22 牝父ドゥラメンテ)中央5戦4勝(菊花賞<sup>G1</sup>、青葉賞<sup>G2</sup>、セントポーリア賞、新潟記念<sup>G2</sup>2着) 獲得総賞金318,219,000円

アイサーベル(23 牝父ゴールドシップ) ⑩

(24 牝父エフフォーリア)

(25 前年種付せず)